



想定外に、たしかな安心
安否確認サービス2

サービス紹介資料

トヨクモ株式会社

「安否確認サービス2」で対策できること



災害に連動した
自動一斉送信



自動集計



対策指示
(オンラインチャット)



緊急連絡網作成

※1 2024年9月の時点

※2 ITReviewカテゴリーレポート 2024 Summer 安否確認システム部門

目次

1 会社紹介

会社概要 / 理念 03

2 「安否確認サービス2」について

「安否確認サービス2」の紹介 04

「安否確認サービス2」の必要性 05

「安否確認サービス2」の特徴 06

「安否確認サービス2」の機能一覧 10

「安否確認サービス2」の強み 11

3 その他

導入実績 13

導入事例 15

料金・プラン 17

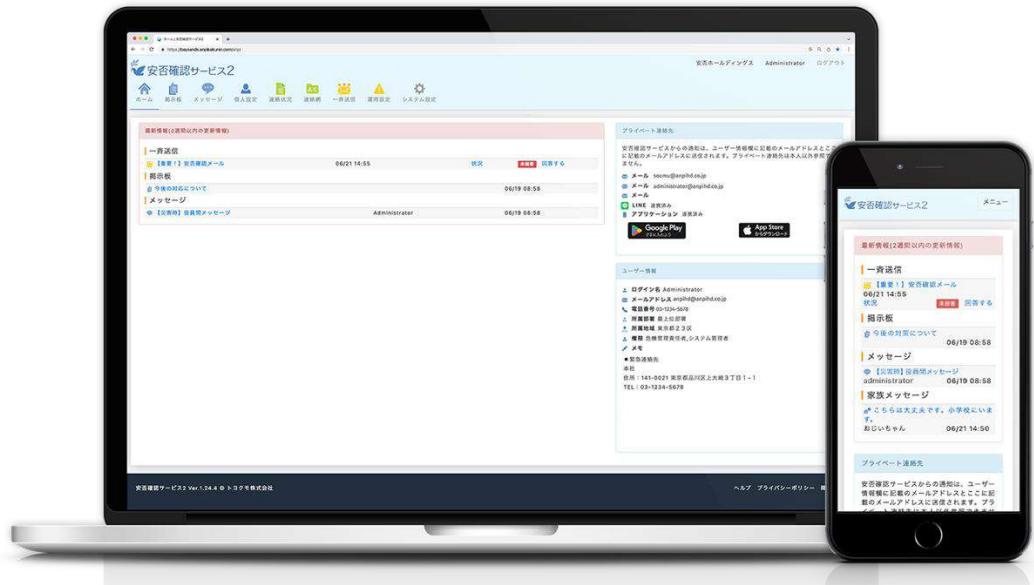
競合比較 18

よくある質問 20

「安否確認サービス2」で従業員の安否確認を確実にする



トヨクモの提供する「安否確認サービス2」は、緊急時の安否確認だけでなく、その後の対策指示まで含めて活用できるサービスです。他社では実現できない一斉訓練や、インフラの国際分散構成などを行っており、「緊急時に本当に利用できるサービス」となっています。



会社概要



会社名	トヨクモ株式会社	所在地	東京都品川区上大崎3丁目1-1 JR東急目黒ビル 14階
設立	2010年8月	事業内容	クラウドサービスの開発/提供 新サービスの開発と運用
上場証券取引所	東京証券取引所 グロース市場 コード番号 4058		

ミッション

すべての人を非効率 な仕事から解放する

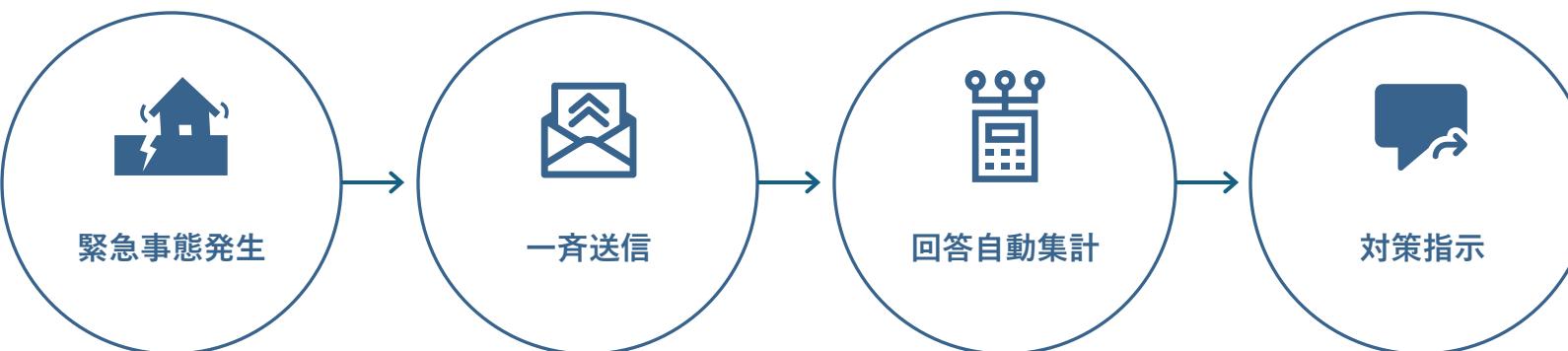
時代の変化に対応しきれず、非効率になってしまった仕事があります。
そんな非効率な仕事を解消していく。それが、私たちの役割です。
多くの仕事に共通した業務から非効率なものを抽出し、検証。
ITの専門的な知識の有無に関係なく、誰もが簡単に効率化できるシンプルなサービスを提供する。
それらを連携させることで、より柔軟に業務を効率化できる。非効率な仕事を解消することで、
生産性は高まり、もっと時間を有効活用できる。
私たちは、クラウドを使ったテクノロジーとアイデアで、
すべての人を非効率な仕事から解放する、そんな製品をつくり続けます。

「安否確認サービス2」のご紹介



大災害時の従業員の安否確認から対策指示まで 「安否確認サービス2」ひとつで。

トヨクモの提供する「安否確認サービス2」は、緊急時の安否確認だけでなく、その後の対策指示まで含めて活用できるサービスです。気象庁の災害情報と連携し、即座に安否確認を実施。回答状況も自動で集計され、ミスを防げます。他社では実現できない一斉訓練や、インフラの国際分散構成などを行っており、「緊急時に本当に利用できるサービス」となっています。



安否確認サービス2なら

- 従業員の安否確認・被災情報の収集～対策指示まで1つのシステムで完結
- 被災情報は自動で集計され、人的ミスを防止
- 全国一斉訓練で大災害での稼働・運用状況を確認して緊急連絡体制を強化

一斉訓練実施実績

2023年度参加社数
1,463社



「安否確認サービス2」の必要性



自然災害が頻発化する中、企業は従業員の安全を確保する責任が大きくなっています。
災害発生時でも安定して稼働可能なサービスを活用する必要性が高まっています。

POINT 01

自然災害の頻発化。平成、令和で大規模災害は全国で約20回発生※し、甚大な被害を与えている

POINT 02

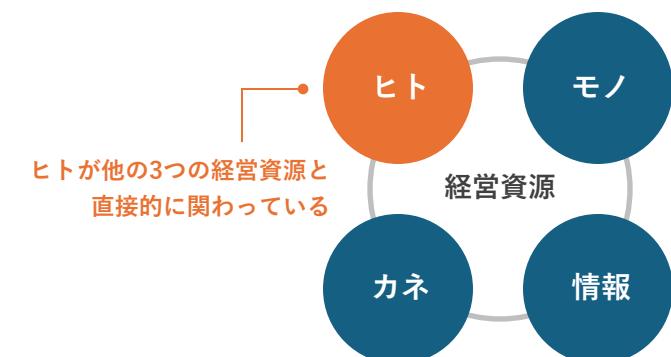
大規模災害が発生すると、通信規制により電話、メールがつながりづらくなる

POINT 03

従業員の安全対策への責任は労働契約法第5条で定められており、怠った場合は損害賠償責任が生じる可能性がある

BCP策定で最も重視すべきポイント

BCPを策定する目的は、緊急事態が起きたときも事業を継続させて企業を守ること。そのために必要になるのが、ヒト、モノ、カネ、情報という4つの経営資源です。このなかで最も重要なのが人（従業員）です。人の命より大切なものはなく、人がいなければ事業も動かせません。人はほかの3つの経営資源と直接的に関わっているため、BCP策定を行ううえでも人を守ることを最優先に考える必要があります。万が一のことが従業員に起こっていないか、怪我をしていないか、それが確認できたら次は誰がいつから業務に復帰できるのか。ここを明確にすることが、復旧計画を設定する第一歩になります。



「安否確認サービス2」の特徴



01

地震・津波・特別警報に連動した自動送信で 電話・メール連絡は不要に

気象庁の災害情報と連携しメールを自動送信するため、
休日や夜間に自然災害が発生した場合でも迅速な対応を実現します。
また、万が一担当者が被災した場合でも安否確認対応が可能です。



02

自動集計と結果通知で 状況報告の負担を削減

一斉送信の回答状況や怪我の有無、家族の安否や出社の可否、
交通手段などが集計結果で確認可能。また、送信の成否や送信失敗
の原因も確認でき、状況に応じて対策を取ることが可能です。



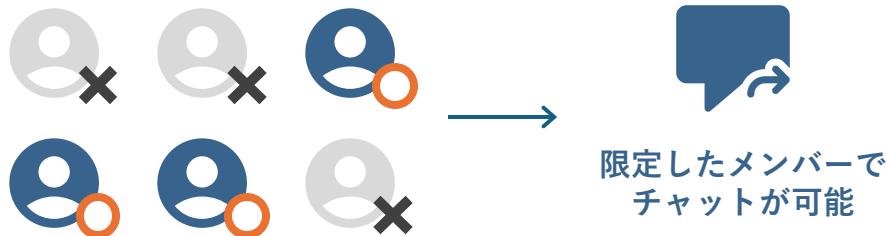
「安否確認サービス2」の特徴



03

宛先を限定したチャットで 適切なコミュニケーションを実現

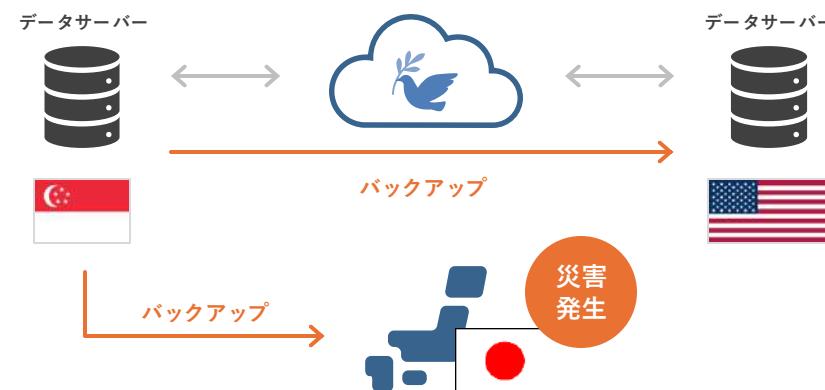
メッセージ機能では、指定した相手と限定的にメッセージのやり取りができます。安否確認の情報を元に、宛先を限定し、対策メンバーや役員との議論に活用することも可能です。



04

国内の大災害を想定し サーバーを国際分散

世界No.1シェアのAmazon Web Services(AWS)のクラウドサーバー上でシステムを構築。また、過去100年間の被害報告がなく、電力事情も安定しているシンガポールをメインにサーバーを設置。



「安否確認サービス2」の特徴



05

南海トラフ・首都直下型地震と同等の負荷を想定した 一斉訓練を業界内で唯一実施

安否確認サービス2は、災害時のアクセスが急増するタイミングでも安定して稼働できるかを確認するため、全ての契約企業を対象に毎年全国一斉訓練を実施しています。実際の災害時に近い負荷をシステムに急激にかけ、稼働状況の確認を行っています。

一斉訓練は実施日と時間帯のみを公開し、詳細な開始時刻は管理者にも通知していません。そのため、実際の災害時と同じように一斉送信の通知が届いてから管理者も事態を把握することになり、実践に近い状態で参加企業の皆様も訓練の実施が可能です。訓練終了後に各組織に送付する結果レポートは、自社の防災意識を見える化し、高めるきっかけとしても活用いただけます。



2023年度参加社数

1,463社



2023年度参加ユーザー数

568,105ユーザー



処理に5秒以上かかったアクセスなし



南海トラフ・首都直下型地震と
同等の負荷も問題ない想定



訓練結果の個別レポートを無償で提供

「安否確認サービス2」の特徴



06

SmartHRなどのHRツールと連携可能。
人事情報のメンテナンス工数を削減

-  ワンクリックで 従業員情報を連携
-  CSVファイルを 書き出す必要なし
-  自動同期で メンテナンスが不要に



「安否確認サービス2」の機能一覧



緊急連絡・情報収集をかんたん、確実に。

「安否確認サービス2」なら 緊急時の初動対応に欲しい機能がすべて1つに。

緊急連絡

メッセージ	掲示板
ファイル添付	平時のアンケート
家族メッセージ	

被災情報の収集・報告

災害時の自動一斉送信	自動集計
絞り込み／手動送信	自動再送信
日時予約送信	LINE連携
登録状況の確認	送信状況の確認
代理回答	

運用管理・その他

CSVによる一括登録	各種HRツール連携
APIによる人事情報連携	所属地域の設定
多階層部署に対応	複数管理者
連絡先自動メンテナンス	差出人名変更
英語対応	グループ会社との利用
IPアドレス制限	メールテンプレート
設問のカスタマイズ	マルチデバイス対応
ガラケー対応	

「安否確認サービス2」の強み



「安否確認サービス2」はツール導入時の以下の悩みを解決します。



費用が高そう



導入時の手間が心配



余計に負担が増えそう

「安否確認サービス2」ならすべて解決！

安否確認サービス2は、考え抜かれたUI/UXで誰でも簡単に利用することができます。
導入時も用意されたテンプレートを活用することで手間や負担をかけずにスムーズに設定することが可能です。

「安否確認サービス2」の強み



強み | 01

考え抜かれたUI/UXだから
導入後の負担もなく、あんしん

「安否確認サービス2」はシンプルなUI/UXで画面が見やすく、
はじめて導入する方でも直感的に操作することができます。

▼管理者:集計状況画面

▲一般ユーザー:ホーム画面

強み | 02

テンプレートを活用することで
コストを抑えて導入が可能

メールテンプレートやフォームテンプレートなどを活用することで、
コストをかけずにスムーズに導入・運用することができます。

サポートデスクもあるから安心！

機能や運用など導入でわからないことがあれば、
電話、メール、Webミーティングでご相談いただけます。



Webでのお打ち合わせ申込みはこちら



導入実績



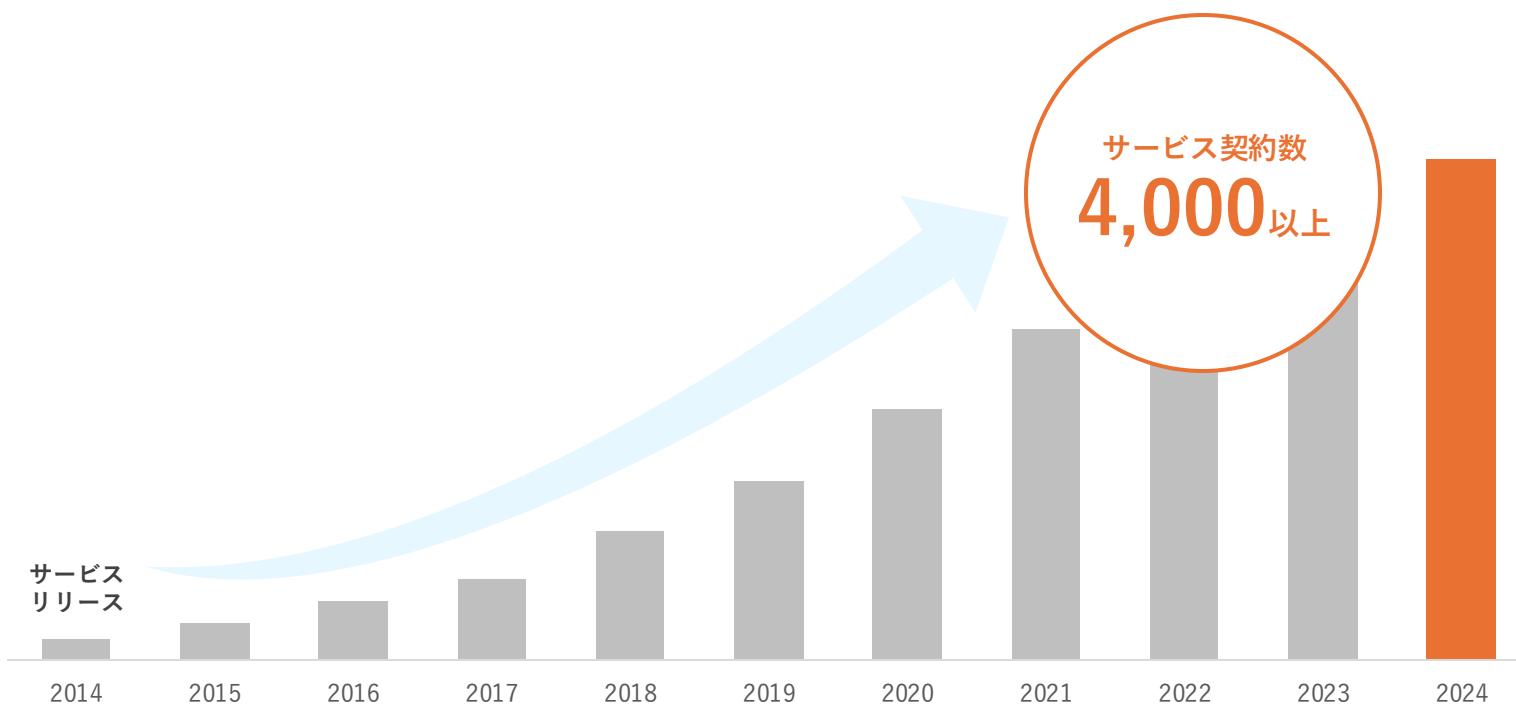
サービス契約数※1
4,000 契約以上



サービス利用継続率
99.8%



満足度・使いやすさ※2
安否確認システム部門
No.1



導入実績



会社概要

プロジェクト実行者（事業者）と応援購入するサポーター（消費者）をつなぐ応援購入サービス「Makuake」を提供

事業内容

各種支援サービスの運営・研究開発技術を活かした製品プロデュース支援事業



導入事例は
こちら！

安否確認サービス2を導入したきっかけ

災害時の安否確認はGoogleフォームで作成した安否確認フォームをSlackでオールメンションし、各自回答してもらうという流れで運用していました。当時は社員数が100名未満と少なかったのでどうにか把握できていたのですが、徐々に規模が拡大してきたこともあり、色々な手段で安否が確認できる、かつ安定しているシステムを導入しようということで、トヨクモの「安否確認サービス2」を選びました。

導入効果

Google フォームで運用していた頃は、基本的に皆さん回答するまでに平均1時間ほどかかっていたと思いますが、安否確認サービス2を導入してからはメールが配信されて30分ほどで回答をいただけている印象で、よりスピード感を持った運用ができていると感じています。また、社員マスターと照らし合わせながら誰が未回答なのかを把握していましたが、未回答者をすぐに把握することができ業務負担が大幅に減っています。



※インタビューの一部抜粋

会社概要

建設業界をアップデートするための建設DX推進事業やその他建設関連事業を展開

事業内容

建設DX推進事業 / グループ事業会社の経営計画・管理 / グループ内の新規事業開発 / 内装資材、住宅設備機器等の販売



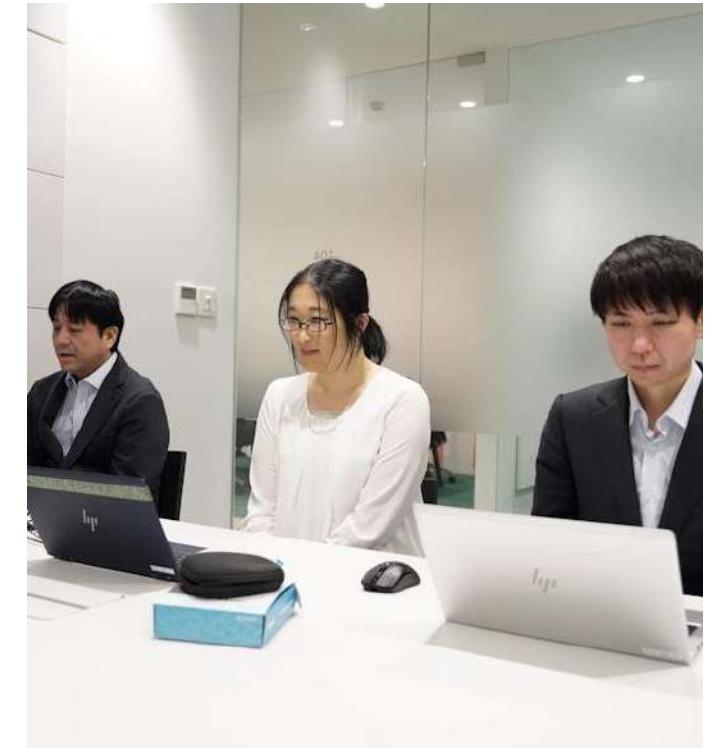
導入事例は
こちら！

安否確認サービス2を導入したきっかけ

電話による緊急連絡網を回し、結果をExcelで集計するという方法で安否確認を行っていましたが、連絡漏れが発生したり、運用にかなり時間と手間がかかっていました。東日本大震災を経て、このままではまずいと感じ、安否確認の体制の再構築を開始。管理者と従業員どちらの負担も少ないかつ、災害発生時も安定して活用することのできる安否確認システムを求めていました。

導入効果

ITやシステムに関する専門知識がなくても、簡単に運用できるのでとても助かっています。安否確認への回答もメールやアプリの回答欄にチェックをつければ完了し、時間としては1分もからないため、回答率が90~100%と高い水準に改善されました。また、令和6年能登半島地震では回答が自動で集計され結果が一目でわかる状態になっていたため、状況を正確かつ迅速に確認できました。運用担当者としての負担はほとんど感じませんでした。



※インタビューの一部抜粋

料金プラン

詳細



まずはお試ししたい方向け

本格的に活用したい方向け

家族の安否も確認したい方向け

グループで利用したい方向け

	ライトプラン	プレミアプラン	ファミリープラン	エンタープライズ
利用料	6,800円 / 月	8,800円 / 月	10,800円 / 月	14,800円 / 月
利用できる機能	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザー上限 : 50 • 手動送信 • 自動集計 • 揭示板・メッセージ • 災害連動の自動送信 • ファイル添付 • SmartHR 人事情報連携 • freee 人事情報連携 • cybozu.com 人事情報連携 • kintone人事情報連携 • Google WS 人事情報連携 • Microsoft Entra ID連携 • 家族の安否確認 • API人事情報連携 • 差出人名変更 • グループ会社との利用 • LINE連携 ※オプション 	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザー上限 : 50 • 手動送信 • 自動集計 • 揭示板・メッセージ • 災害連動の自動送信 • ファイル添付 • SmartHR 人事情報連携 • freee 人事情報連携 • cybozu.com 人事情報連携 • kintone人事情報連携 • Google WS 人事情報連携 • Microsoft Entra ID連携 • 家族の安否確認 • API人事情報連携 • 差出人名変更 • グループ会社との利用 • LINE連携 ※オプション 	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザー上限 : 50 • 手動送信 • 自動集計 • 揭示板・メッセージ • 災害連動の自動送信 • ファイル添付 • SmartHR 人事情報連携 • freee 人事情報連携 • cybozu.com 人事情報連携 • kintone人事情報連携 • Google WS 人事情報連携 • Microsoft Entra ID連携 • 家族の安否確認 • API人事情報連携 • 差出人名変更 • グループ会社との利用 • LINE連携 ※オプション 	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザー上限 : 50 • 手動送信 • 自動集計 • 揭示板・メッセージ • 災害連動の自動送信 • ファイル添付 • SmartHR 人事情報連携 • freee 人事情報連携 • cybozu.com 人事情報連携 • kintone人事情報連携 • Google WS 人事情報連携 • Microsoft Entra ID連携 • 家族の安否確認 • API人事情報連携 • 差出人名変更 • グループ会社との利用 • LINE連携 ※オプション

競合比較



品質保証基準を維持できなかった場合の **返金制度もご準備しています。**

	安否確認サービス2	警備系大手S社	通信系大手N社	WebサービスI社
初期費用	◎ 0円	△ 100,000円~	△ 110,000円~	△ 200,000円
月額費用 100ユーザー	◎ 9,800円	○ 12,000円	○ 10,000円	△ 40,000円
返金制度	◎ あり	✗ なし	✗ なし	✗ なし
通信遅延対策	◎ サーバー拠点を国際分散 定期的な一斉訓練の実施	△ サーバー拠点は 東京・大阪	— 非公開	△ サーバー拠点は 東京・大阪
自動一斉送信 設問カスタマイズ	◎ 完全自動送信 設問カスタマイズ可能	△ スタッフの代行送信 設問カスタマイズ非公開	○ 完全自動送信 設問数に上限あり	○ 完全自動送信 設問数に上限あり
チャット機能	◎ あり	△ 別サービスへの 加入が必要	◎ あり	△ 別サービスへの 加入が必要

お試し開始～本運用までの流れ



無料お試しや資料を活用して **スムーズに導入が可能です。**

1営業日以内で利用開始できます！

01

無料でのお申し込み

機能制限・ユーザー数の制限なく、一斉送信や掲示板機能などもご利用いただけます。

＼回数制限なし／

無料お試しはこちら
<https://www.anpikakunin.com/trial>



02

お試し開始

各機能を試しながら導入検討を進めます。不明点ございましたらお気軽にお問い合わせください。

03

導入提案

製品サイトに仕様書や社内提案資料のテンプレートをご用意しております。

テンプレートはこちら
<https://www.anpikakunin.com/catalog>



04

本申し込み・導入

お試し期間中にお申し込みいただければ登録データや設定を引き継いで利用を開始できます。

よくある質問



Q 登録できるメールアドレスはいくつですか？

管理者が登録できる枠が1つ、ユーザー自身が登録できる枠が3つとなります。

Q 専用アプリでは、何ができますか？

設問への回答に加え、掲示板やメッセージの作成・書き込みが可能です。
また、ファミリープラン以上では、家族メッセージもご利用いただけます。

Q 専用アプリは無料ですか？

はい、無料で利用できます。

Q フィーチャーフォン（ガラケー）でも利用できますか？

はい、利用できます。ただしcookie非対応の端末はご利用いただけません。

Q 設問への回答の際、パスワードなどは必要ですか？

送付されてくるURLには個別のログイン情報が含まれておりますので、
ログイン名（ID）やパスワードの入力は不要です。

Q 自らログインして回答することはできますか？

はい、可能です。ログイン名（ID）やパスワード不要で自身のアカウントに
ログインできる、ブックマーク用URLを発行することもできます。

Q 回答の修正はできますか？

はい、何度でも可能です。
回答回数や各回答を行なった日時は、履歴として残ります。

Q 添付するファイルの容量制限はいくつですか？

10MBとなります。作成者が編集できる本文には5ファイルまで、コメントは
1件の書き込みにつき1ファイルまで添付可能で、総数の制限はございません。

お問い合わせ



以下のようなお悩みを抱える方は
お気軽にお問い合わせください！

- ・自社にあった運用方法を知りたい
- ・同業界の活用事例を聞いてみたい
- ・どんな機能があるか詳細を知りたい

無料お試し



以下のようなお悩みを抱える方は
お気軽にお申し込みください！

- ・まずは使ってみて運用イメージを掴みたい
- ・自社で活用できるかを確認したい
- ・実際の画面を触りたい、機能を使いたい